

# 吹雪時の視程推定技術と情報提供

近年、急激に発達した低気圧の影響により、吹雪の発生頻度が低かった地域でも、吹雪による交通障害が発生しています。これまで、防雪林や防雪柵の整備等によって吹雪災害の被害軽減が図られてきていますが、こうした暴風雪への早急な対策としては、吹雪の現況・予測に関する道路利用者への情報提供により、安全な行動判断を支援することが重要と考えられます。そこで本研究では、気象庁から配信される降水強度と風速、気温、湿度の気象値を用い、雪氷チームが開発した視程推定手法により視程を予測し、インターネットサイト「吹雪の視界情報」により、情報提供を行っています。

## WEBサイト「吹雪の視界情報」について

WEBサイト「吹雪の視界情報」では、視界予測等、以下の情報を提供しています。

### ● 視界情報

北海道を旧市町村を基本とする221のエリアに分割し、視程を良好(1000m以上)~著しい視程障害(100m未満)の5ランクに分け、30分毎の現況値と、昼間(6~21時)3時間毎に1~24時間先の予測値をインターネット上で配信しています。

### ● 気象警報・注意報

気象庁が発表する最新の情報を掲載しています。



スマートフォン版

### 吹雪の視界情報の提供効果について

日本海側を中心に猛吹雪となった、令和6年1月24日には、シーズン最多の約37,174件のアクセス数になりました。天候悪化時には、利用者が「吹雪の視界情報」を行動判断に活用していることが分かります。

北の道ナビ 吹雪の視界情報【現況と予測】

気象警報・注意報

通行止め情報

提供: 気象庁

提供開始以降最大: 37,174件

令和5年度12/1~3/29 日平均 11,000件

▲「吹雪の視界情報」アクセス数の推移(令和5年度)

### ● twitter(SNS)

著しい視界不良が予測された時に、ツイートによりお知らせします。



### ● 吹雪の投稿情報

一般市民からの投稿による吹雪情報を提供します。



### ● メール配信サービス

事前にメールアドレス、配信条件を登録することにより、条件に応じて、視界不良の予測をメールでお知らせします。



▲SNSフォロワー数の推移(令和元~4年度)